

一般質問



動画視聴

自民・未来クラブ
森 電子 議員

諏訪川の浸水対策は
熊本県との連携を

問 浸水対策はポンプ増強だけでは不十分であり、流域治水への転換が求められている。本市でも諏訪川の浸水対策

の検討が必要。熊本県側との連携はどうなっているのか。

答 御指摘のとおり、諏訪川の浸水対策を進めるには熊本県側と十分連携を図りながら、福岡県、関係市町とも対策を進めていく。

災害復旧・復興は被災者に
寄り添った支援継続を

問 生活再建する中で、住宅には大きな費用がかかり自力だけでは難しい。申請締め切りとなる公費解体や応急修理について期間延長や2次申請

による対応を求めたいが。

答 解体については、一定期間に、費用償還による支援を検討する。また、住宅の応急修理は、これまでは国から延長を認めてもらってきた。期限内に申請すれば4月以降の着工でも可能としている。

問 国や県の支援や協力が必要であれば、市長自ら働きかけ被災者に寄り添った支援に引き続き取り組んでほしいが。

答 国や県に対する要請も含め、今後出てくる課題は市として引き続きしっかり考える。



動画視聴

公明党議員団
山田 修司 議員

おおむた地図ナビへの
令和2年7月豪雨の
浸水実績掲載

問 掲載はどのような内容で、今年の雨季までに間に合うか。

答 令和2年7月豪雨の浸水実績のマップは、各消防団か

ら浸水状況の聞き取りを進めており、その結果と市内の地形から推計を行い、作成する。本年4月中に完成させ、梅雨時期前までにインターネット上の「おおむた地図ナビ」に登載する予定。

問 その地図を紙媒体として全戸配布する考えはあるか。

答 紙媒体として市内に配布することも検討している。

浸水痕・浸水想定
看板等での表示

問 洪水ハザードマップで、

浸水の危険性がある箇所の浸水の深さと今回の水害の水深を示す看板を設置できないか。

答 浸水痕の表示については、過去の浸水の被害を伝承し、災害の記憶を風化させない取組になると考えている。

また、まちなかにハザードマップの情報を表示することは、身近な場所で災害リスクを感じることができ、災害時の避難にも役立つものと考えている。このため、他市の事例も参考にしながら、表示の場所や方法など検討したい。



動画視聴

民主・護憲クラブ
古庄 和秀 議員

65歳問題について

問 法律で障害福祉サービス利用者が65歳になった途端、介護保険が優先される問題で、全国で介護時間等が少なくな

り、複数の裁判が起きている。65歳になり、加齢とともに重度化し、より介護が必要となる中、サービス量が減ることに納得できないとの切実な相談を受けている。これは財政論の前に人権の問題で、本市の障害者は65歳になることを心配している現実があり、改善すべきだが、市の考えは。

答 障害の特性から要介護認定の結果で支給量が減少する場合、その方の日常生活に支障があり、障害福祉サービスによる支援が必要なときは、

一定の範囲で障害福祉サービスを上乗せして支給している。

問 市長の率直な考えは。

答 障害のある方が65歳になり、障害福祉制度から介護保険制度に移行した場合でも、日常生活に影響が出ないようにすることは大切であり、必要な支援を不足なく受けることができるよう、個別のケースに応じて柔軟に対応している。今回様々な御指摘をいただいたが、今後も1人1人に寄り添い、必要な支援が受けられるよう検討していく。